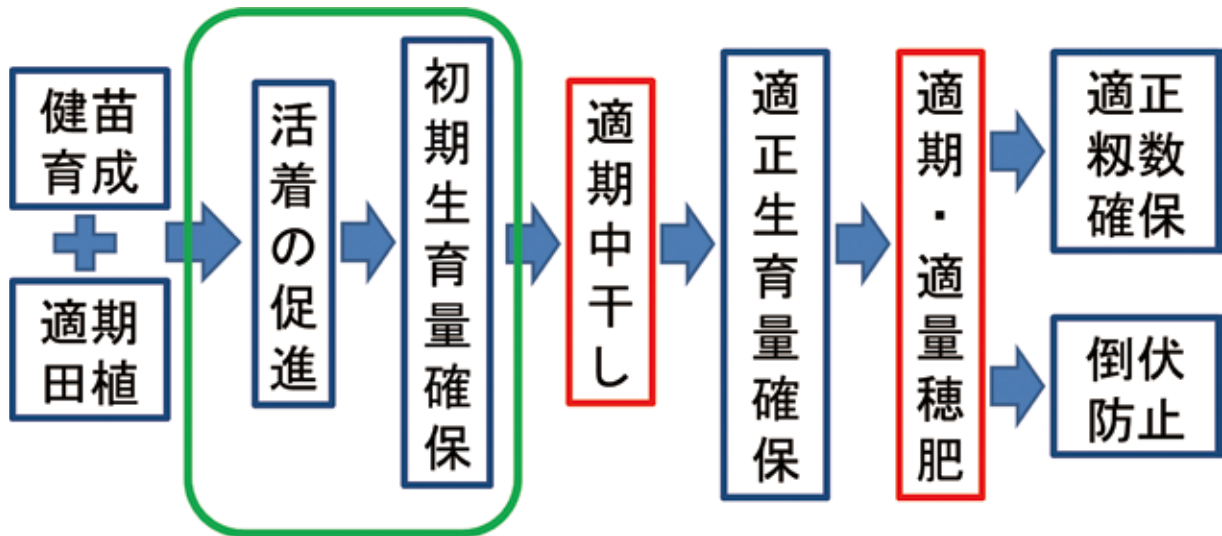


田植後の水管理で活着促進・初期生育量確保を図り、 適期中干しにつなげましょう!

高品質・良食味米生産のためには、初期生育を促進し、良質茎を早期に確保することが重要ですので、田植後の水管理を徹底しましょう。

! 出穂期までの生育のイメージ



point! 初期管理のポイント

1 【田植後活着まで】は保温的水管理

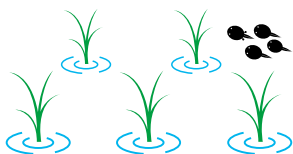
田植後7～10日位は3～4cmの水深で低温や風による植え傷みを回避しましょう。水温、気温が高いほど、発根、活着が早いので漏水を防止し、水温の上昇に努めましょう。

2 【活着後】はやや浅水管理

活着後は2～3cmの水深で地温の上昇を図り分けつの早期発生を促しましょう。

3 【ワキの発生】に注意

ワキ（ガス）は根を傷めるため、夜間落水等を行い、ガス抜きをしましょう。



ほ場に足を踏み入
るとブクブクとワキの
発生状況が確認でき
ます。



稲作携帯メールサービスの登録で品質向上を目指しましょう!

【登録専用アドレス】 イナサク
inasaku@ja-kitauonuma.com

登録用QRコード

